

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566) 22-2111
FAX (0566) 25-2111
メール kariyar@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 鈴木 文三郎
幹事 豊田 貴久
会報委員長 磯部 一智

2018 ~ 2019年度 国際ロータリー バリー・ラシン 会長テーマ

BE THE INSPIRATION インスピレーションになろう

第3031回例会プログラム

[当年度=16回目; 当月=3週目]

2018年(平成30年) 11月19日(月)

1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……………〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱
……………それこそロータリー
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 西三河分区インターシティ・
ミーティング PR (三河安城 RC)
……………IM 実行委員長 富田 清治 様・
IM 副実行委員長 成田 徹 様

9. 幹事報告
10. 出席報告
11. 委員会報告
12. ニコニコボックス報告
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(11/26) ……

卓話 「マスコミの裏側、めざましクラシックス」

講師 東海テレビ事業局長

杉田 朗 様

(紹介者 加藤大志朗 会員)

(12/3) ……

新入会員アワー 安藤順太郎 会員

" 林 孝敏 会員

2. クラブフォーラム……………〈ロータリー財団委員会〉

- 13:00 卓話 「ロータリー財団 今、やるべきこと」
講師 地区奨学基金・

平和フェロウシップ委員会

委員長 長谷川龍伸 様

(名古屋丸の内 RC)

(紹介者 新海 伸二 会員)

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

14. 謝辞
15. 点鐘……………〈会長〉
16. 閉会宣言

13:30 17. 散会

ビ ジ タ ー

三河安城 RC IM 実行委員長 富田 清治 様
三河安城 RC IM 副実行委員長 成田 徹 様

出 席

会員総数 97名 出席免除 25名
出席義務者+免除者の内例会出席者 89名
欠席 6名 出席率 93.26%
前々回 (11/5) の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 11月15日(木)、創立65周年記念事業、タイ国際奉仕事業として、ノンジクヤウ小学校への多目的ドーム、ユニバーサルトイレの完成記念式典に、総勢15名のメンバーで参加して参りました。頂いた感謝状と、バナー交換をしたバナーを回します。





2) 地区より、ロータリー財団優秀クラブ並びに、米山記念奨学会寄付優秀クラブとして、2017-2018年度ガバナー特別賞の表彰を頂きました。

会長あいさつ

鈴木文三郎



刈谷ロータリークラブ創立65周年記念事業の一つ、タイにおける国際奉仕事業の譲渡式典に、橋本実行委員長以下総勢15名で行って来ました。

バンコクから北西にバスで約3時間、タイ国スパンブリー県にあるノーンジクチャーウ村学校は、1942年に設立された遠隔農村地域の小規模校です。

幼稚園児から小学校6年生児まで9学級74名の児童数で、うち7名の障害児が在籍しています。

この地域の住民の8割が年収50,000バーツ（日本円で約15万円）の貧困世帯となっています。公的資金だけでは学校運営が成り立たず、今まで約20年に亘る日本からの支援のおかげで、恵まれない環境にありながら、田舎の学校としては識字率も100%に達し、バレーボールや絵画などのコンクールでも優秀な成績を収めています。

今回、安城特別支援学校の校長先生を退職された藤原孝太郎先生の多大なるご尽力によって、当学校に多目的ドームとユニバーサルトイレを寄贈させていただく事になりました。

また、今後この多目的ドーム等を使用して“アートキャンプ”を実施し、バンコク市内での絵の展示会も、国際奉仕委員会の通年事業として行う予定です。

11月15日午前11時から、総勢約200名の参加による完成記念式典が開催されました。我々メンバー一人一人に、タイ王室の色である黄色の花の首飾りをかけての歓迎。その後、子供達や地域の方による舞踊や太鼓の披露がありました。また、子供たちが「昴」をタイ語で歌って歓迎してくれました。

食事は地域住民の皆さんの手作りで、テーブルの上に並びきらない程のご馳走が用意されました。現地の料理が食べられるか心配していたメンバーも、すべて美味しくいただきました。

その後式典が始まり、刈谷 RC 会長の私のスピーチと地域の副教育長ディープラシット氏のスピーチに続き、譲渡目録の贈呈および刈谷 RC に対する感謝状の贈呈が

ありました。

引き続き、スパンブリー県の6 RC およびスワナブーム RC とのバナー交換、そして記念撮影などが続きました。さらに、11月15日当日が、ノーンジクチャーウ村学校のナタニット校長の誕生日であったことも重なり、華やかで温かみのある式典となりました。

今回我々が寄贈したドームおよびトイレは、単に小学校の施設として活用されるのみならず、地域の様々な活動の拠点として幅広く活用していただけるとの事です。

また、今回は2010年度から2013年度まで4年間に亘ってタイ北部のチェンライ地区でオイスカの協力によって行った植林活動の現状視察に岡本巧 PP 鈴木豊 PP はじめ5名に先発隊として行っていただきました。「刈谷の森」は順調に生育しているそうです。

先発隊の5名とはバンコクで合流して、式典と一緒に参加していただきました。総勢15名の参加メンバーに感謝すると共に、会員各位のお陰で積み立てた浄財を65周年記念事業に使わせていただいた事に感謝申し上げ、記念事業第一弾の報告とさせていただきます。ありがとうございました。

クラブフォーラム

卓話 「ロータリー財団 今、やるべきこと」

地区奨学基金・平和フェローシップ委員会

委員長 長谷川龍伸 様



ポリオプラスについて

ポリオの正式名称は「急性灰白髄炎（きゅうせいはいはくずいえん）」、一般に「小児まひ」とも呼ばれます。

1979年9月、国際ロータリーは、フィリピンで、生後3か月から36か月の子ども約600万人に対して、5か年計画のポリオ免疫活動を始めました。これが、ロータリーがポリオ撲滅に取り組んだ第一歩です。

当時、ポリオ撲滅は夢物語と思われていました。そして、それから15年後の2000年、ポリオ感染数は99%減少しました。

しかし、今ここで撲滅のための活動のペースを落とした場合、さまざまなリスクが生じることになります。再流行が起きた場合、2022年までに毎年20万人の子どもがポリオに感染する可能性が予測されています。また、現在ポリオフリーに認定されている国にも、再び感染が拡大することになります。

今年度、当地区では、年次基金寄付一人当たり150ドル、ポリオプラス基金寄付一人当たり30ドルを必達の目標として掲げています。皆様のご協力をお願いします。

昨年度(2017-18)の寄付

刈谷ロータリークラブ様

● **年次基金寄付**

1人当たり 240.24 ドル

● **使途指定寄付(ポリオプラス)**

1人当たり 1.12 ドル

皆様のご理解、ご協力感謝申し上げます。

<ロータリー平和センター提携大学とプログラム>

修士号取得プログラム

- デューク大学・ノースカロライナ大学チャペルヒル校 (米国)
- 国際基督教大学 (日本)
- ブラッドフォード大学 (英国)
- クィーンズランド大学 (オーストラリア)
- ウプサラ大学 (スウェーデン)

専門能力開発修了証取得プログラム

- チュラロンコン大学 (タイ)

<昨年度(2017-18)財団寄付額一覧>

クラブ名	会員数	年次基金		使途指定		恒久基金		年累計(\$)
		クラブ目標	1人あたりの寄付額(\$)	年度(\$)	年度(\$)	目標人数	年度(\$)	
刈谷	89	13,650.00	240.24	21,381.07	100.00	—	0.00	21,481.07
安城	56	5,700.00	102.61	5,746.30	0.00	—	1,000.00	6,746.30
西尾	77	11,550.00	164.18	12,641.64	2,340.00	1	1,000.00	15,981.64
碧南	68	10,200.00	156.20	10,621.45	510.00	—	0.00	11,131.45
西尾一色	28	2,800.00	100.00	2,800.00	0.00	1	1,000.00	3,800.00
高浜	31	3,400.00	145.81	4,520.00	0.00	1	1,000.00	5,520.00
知立	59	9,000.00	88.57	5,225.74	0.00	—	0.00	5,225.74
西尾KIRARA	54	10,550.00	147.78	7,980.00	510.00	0	1,000.00	9,490.00
三河安城	63	9,000.00	150.13	9,457.89	0.00	1	1,000.00	10,457.89
2760地区				0.00	10,000.00		0.00	10,000.00
2760地区合計	4776	664,174.85	157.65	752,943.19	93,458.61	40	97,910.72	944,312.52

財団委員会は、「世界で良いことをしよう」を合言葉に、各クラブの奉仕活動を支援させていただいている他、独自に以上のような様々な奉仕プログラムを実行しています。今後とも、財団委員会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

健康診断



グローバル補助金奨学生・平和フェローについて

皆様ご存知の緒方貞子さん、中満泉さんも元ロータリー国際親善奨学生です。

グローバル補助金奨学生は、2011年の未来の夢計画の一環として始まった新しい奨学金制度です。当地区からは、2016-17年度は1名、2017-18年度は3名の奨学生を送り出すことができました。

平和フェローは、平和構築の専門家を育成するプログラムで、2002年に始まりました。世界の6大学で定員100人（そのうちチュラロンコン大学短期プログラムが50名）の狭き門ですが、当地区は、2014年度から4年連続で平和フェローを送り出しています。

<奨学基金・平和フェローシップ委員会>

グローバル補助金奨学生

主要な目的は、世界の優先的なニーズである「6つの重点分野」に取り組み持続的かつ測定可能な成果を生むこと

留学先 海外の大学院

条件 大学卒業で、留学先の入学許可

「6つ重点分野」の関連分野

期間 1～2年間

金額 30,000米ドル以上

6つの重点分野